(明治三十九年二月二十五日第三種郵便物認可)（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十三年九月廿三日（金曜日）　第五百十六號

# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
定價　本紙▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵税一ケ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

## 雑録　漢城より

（二十日）　熊浦遠人

▲半島併合の儀、秋晴れの空と澄める世人の心に、タッ一抹の暗雲ありて天の涯にかゝるかの如く覺えしむる節あるは、未だ總督府官制の發表を見ざるが爲めなるべし去れど官制の發布は茲旬日の近きに在りと聞けば、待つ身にも永からぬ間ぞ、氣を揉むには及ばねど待つ間をまぎらす辻占がはり、少しく其の內容を想像して見たし、無際限に昂ぶれる心を鎮めん爲めには他愛も無き閑事として斥くる節のものにも非らざるべし、

▲何よりも先づ想像の基礎を定めんには、半島をば從來の如く警察國たる中身に法治國の衣を着せたる如き狀態に置かるべきか、夫れとも、皮も肉も骨も、法治國の一部らしき實質を備へしめらるべきかを判斷するを要す、

▲吾等は半島を以て急に純然たる法治國の領土らしき實を有せしむることは到底不能事たるべく思ふ也、帝國は法治國也、故に帝國の領土となれる半島は法治國の一部也、といふ者に對して吾等は異議を挾むものにあらずと雖も半島政治の根據をば法治國たる狀態に置かるべきか、若くは警察國たる狀態に置かるべきかに就ては、必ずしも人に依り相反する意見なきにあらざるべし、吾等は其の後者、即ち警察國たる狀態に處かるべきを信ぜんと欲す、

▲サテ警察國たる狀態に處かれたりとせよ、督府入部の樣子となるべきは警察力なるべし、國民の生命、財產を保護するの標準は法律制度の據るべきものゝ制定せらるゝやいふ迄も無けれども純然たる法治國に在りては切言すれば我內地に於ては法律制度其ものが直接國民に對して其の適從すべき處を敎ふる代りに半島に於ては警察の力を以てし、法律制度は警察力行使の標準となるに過ぎざるべし、而して此の間警察力を有するものゝ自由裁量の範圍は頗ぶる擴大せらるべし是れ吾等の警察國たる狀態と稱する處のものにして、吾等の己むを得ずとして諦むるを要する處なるべし、

▲然れども吾等の茲に最も懸念するは警察力の擴大に非らずして警察權の擴大に在り、警察權の擴大は必ずや他の領分を蠶食せざれば爲され能はず、假し他の領分を蠶食するは強ちに不可ならずとするも若し司法權を蠶食することなどのことあらば由々しき大事なり、是丈けはコラへて欲しき者也、ナド、想像を逞すれば併合の嬉しさに浮れ、無際に昂ぶれる心の何と無く打ち沈み行くを覺ゆ、鶴齢々々。

## 雑報

### 朝鮮滿洲間の連絡

安奉線改築工事中奉天石橋子間は最も早く竣成し既に廣軌車輛の運轉をなしつゝあるが安東鷄冠山間は愈々來る十一月三日より廣軌車輛の運轉を開始すべく而して石橋子本溪湖間も本年中には竣工すべき豫定なれば是れにて奉天及び本溪湖間も本年末か來年一月一日頃には廣軌線の開通を見る譯なるが其の曉に於ては最早未通の分は僅かに鷄冠山及び本溪湖間のみに限る次第なれば其の未成間のみ輕便線にて連絡を爲すべく隨つて從來奉天安東間に二晝夜を要したるものが其後は僅かに約十五時間にて達し得らるゝこととなる譯合なるが滿鐵にては之れと同時に朝鮮鐵道との連絡を計る筈なりと云へば朝鮮鐵道に依り奉天方面に行くべき旅客は本年末か來年一月よりは從來の如く安義間に一泊を要せずして直ちに達し得らるゝ譯合なりと

### 教育に關する注意

去る十六日附を以て學部次官は各道書記官及各官私立學校に對し左の意味の訓示を與へたり

義に併合條約發布せられたるに就ては制令第　號の趣旨に依り學事に關する諸法令　敎科用圖書等に追て何分の改正さるべきは勿論の事なれども總て從來の物を準用すべく就ては公私立學校の職員にありては此際特に注意を拂ひ生徒をして常に併合の趣旨を辯知し苟一にも誤解疑惑を懷くなからしむるは固より事にして一意專心學業を勵み將來勤儉着實の順民として家治產に力め各自の幸福增進を期せしむる樣一層協力薰陶方奬勵するは固より尙は從來の敎科課程中の國語は日本語朝鮮語は國語として取扱はしむべく又本國地理歷と稱する場合には廣く日本帝國全土の地理歷史を授くべく單に朝鮮の地理歷史を以て本國地理歷史と稱すべからざるは無論の事にして敎科書の使用方に就ても不日注意する事項は可申向なれども此際不適當と認むべき章句は適宜斟酌して之が說明をなさしめ其他敎科目の敎材選擇及取扱にありても同樣取捨宜に合ひ遺憾なからしむる等克く學校所在地の情勢民心の傾向等に鑑み具に事の輕重を度り施措緩急を誤らざる樣篤と示諭を要す

### ●伸寃箱投書の種類

城內隨處に設けある伸寃箱の狀況を聞くに各處一日平均二通以上の投書ありしが右は申すまでもなく朝鮮人側の伸寃にて日本人側のものは開設以來殆んど皆無と云ふも差支なき有樣なりと猶朝鮮人側の伸寃と云ふは何れも舊事に屬し早きも六七年前、更に舊るきは十六七年前に於ける事件にして多くは財產、土地、家屋の被横領之れに加ふるに寃罪の入獄牢死、斯て當然發るべからざる運命則ち貧窮、流離等尤も民事に關するもの多く何れも併合後に於ける新政の恩澤により雪寃救恤を願するにあるものゝ如くなるが舊事も去る事ながら當局者の伸寃箱を新設したるの趣旨は新事則ち日本が朝鮮の經營に染指せし以來の出來事を最とするにあれば此現象に付き不尠失望し居る由

### ●滿鐵と支那人敎育

滿鐵にては從來附屬地在留日本人兒童を敎育する方針なりしが此方面の成績優良にして設備も略ぼ完成したるを以て更に一步を進めて支那人敎育に及ぼすの議あるやにて夫れ〳〵調査中なるが遼陽小學校及び十月一日より熊岳城分敎場內に開設すべき特殊學級と稱するものゝ此前提と目せらるべきものにして既に十數名の入學申込者あり其成績如何によりては將來大に支那人敎育に力を注ぐ方針なりと云ふ

### ●朝鮮酒新釀造着手

度支部釀造試驗所に於ては既に二回の試驗を了り今更に多額釀製の事となり二十一日五百石造り込の手筈に及べり元來舊酒は生麴を使用の爲め蛋白質過熟よりして保存上至大の困難を感せしが前二回試驗の結果大に發明する處あり麴は同所精製に成る他同加量は舊法より一層分量を減じ貯藏の便を圖り尙は諸種の點に於て改良を加ふる鄙鮮からざれば成熟の上は母國米酒に讓らざる風味を有すべしと因に同成熟は十月二三日頃の豫定にして同時に汎く發賣の手續に及ぶべしと

## 講談　大岡政談　越後傳吉

旭堂南陵講

第八十一回

一時も早く參つて扶けてやれと仰しやる伊賀守樣のお言葉、これは伊賀守殿のお言葉ではない、神の命に依て吐き出されたる言葉である、さうでございませう、此時に伊賀殿が兎に角扶け遣はすから其方駕籠に乘つて參れ、先方へ談判をして傳吉を扶けてやれくらいのことをいふて居たら、傳吉はこの日の夕方に首が飛んでしまふ人間、然らば傳吉の首の飛んだ跡へ乘込むことになります、其方の手の中を以て乘ッ切つて參れと仰せられたのは、これが不思議のお言葉と申すので、之また菅谷主水といふ方が馬術にかけては伊賀殿家尤も馬は殿樣の御愛馬たる漆雲といふ名馬をばお貸し與へに相成る、主水忽ち跨ると一鞭くれて主「ハイヨー〳〵」と追分の宿をば跡にいたして乘ッ立て〳〵たての馬をば思ひ切り飛ばした時の勢ひといふものは實に流車より早いといふくらゐ、乘人が乘人なれば馬が馬、乘立て〳〵頸城郡高田を望んで參る、此方は傳吉春に乘られ先きには制札紙幟黑崎伴右衛門の厩制に依つて中村屋與兵衞がお仙を連れて出掛けたといふことを見屆けてから急に戶田能登守老臣をば瞞着して今日のお處刑、村々を引廻されて參る、もうこれは先刻に首なくなつてる筈だが、何しろ多勢の百姓衆何百何千の人が　一同「ヤレ氣の毒だな、旦那どんがお處刑になるこやうなら天下は闇黑だ、旦那どんを助けてくれやい、旦那どんを助けてくれやい」と多勢の百姓が引廻して來る馬の四邊をワア〳〵集まつて騷ぎ立る中を役「控へろ〳〵、妨害をしては不可ぬぞ、近寄るな〳〵」叱りながら引廻すんだから容易のことぢやアない、漸々に泉河原に參りまして、ズッと竹矢來が結廻してある中へ傳吉をドッと下した蓮の上に坐らせられた、傳吉はもうこの時に死ぬる覺悟、口を結んで控へて居る、太刀取の役人其所へ出る、これは首斬役人矢來の外は黑山の人一同「駄目だぞ、小旦那ア扶けてくれなきやアなんねへぞ、小旦那ア扶けてくれよ」と呼はるとワアッといふ鯨波の聲一同「そらア刀ア持つて出てつたぞ、あの刀で旦那さんの首を斬るんだからの、石を放ッ附けろやい」といふと忽ち多勢から堪りません、草鞋の古いのを拾つたり石を拾つたりして、首斬役人を望んでガラ〳〵と放り附ける、驚いた役人が片脇へ身體を隱した　役「ヤイヤイ、無禮なことをするな無禮なことをいたせば汝等から召捕つてしまふぞ、無禮者めが〳〵」と六尺棒を持つて多勢の百姓をば叱り倒すと、漸う少し鎮靜つた　役「あう宜い」と思つて刀を持て斬に出ると　一同「ツーラ旦那どんの首を斬りをるぞ、石を放つ附けろ、草鞋を放つ附けろ」と又いろんな物を放り出した、すると役人はれぞろいて　役「コリア惡い役に當つた、又多勢が色んな物を投やアがるな、汝等左樣なことをしてはならぬぞ〳〵」といつてワア〳〵騷ぐ奴を鎮める、斯くいたして居るから容易に傳吉の處刑が行はれないはや黃昏前といふ時分、馬に鞭打つて乘込んで來たのが菅谷主水、乘人も馬もビッショリと汗に塗れパッ〳〵〳〵と駈て來た高田町、百姓等の方はそんな事と知らないから　○「ヤア彌左衛門さん　彌「ハア　○「もう駄目でがすな　彌「さうでがすな　○「あれほど正直に一生懸命に働いてる者が曳廻されてお處刑になり、泥棒した奴がお處刑にならねで威張つて行けるとは情ない世の中ぢや」と田舍者だけに大きな聲で話してゐる、それを聞てピタッと馬足を止められた菅谷主水　主「アヽコリヤ町人待て　兩「ハイ、アヽ何でがすな　主「只今其方の言葉に何やら正直者が處刑に上つて惡事を働く者が威張るとか申したが何事ぢや、明瞭答へをいたせ　兩「ハイ……」イヤ驚いたのは兩人の奴、顏と顏とを見合つて、立派なお武士だ○「オイ彌「エヽ○「役人かも知れねぜ　彌「役人だつたら困るな　○「サアえらい事になつた……ハイ　彌「ハイ　主「明瞭答へをいたせ」といはれて二人は縮み上た

東京電報

▲大觀光團の渡鮮期 鐵道院の主催に係る朝鮮大觀光團は愈々來る十月五日東京出發渡鮮し釜山大邱、京城、平壤、新義州、安東縣を視察し十八日歸着の事に決定したり團員は東京橫濱附近の人多數にて有力なる紳士紳商もあり會費は一人に付三十三圓にて鐵道院にては多大の便宜を與ふる由なり(二十二日)

▲東宮殿下の行啓 皇太子殿下には來る二十四日京都方面に於ける工兵演習地に行啓遊ばさる

▲英國艦隊の入港 英國艦隊は昨日橫濱へ入港せり(同上)

▲司令長官の上京 英國艦隊司令長官は本日入京したり(同)

▲樞密院會議の開期 總督府新官制案並に附屬法令は既に樞密院顧問官に配付されたるに付二十六七日頃臨時樞密院會議開かるべし

▲特別大演習の彙報 今回の特別大演習參加各師團は十三日午後軍團編成をなし十四日午前六時南北兩軍同時に運動開始の筈兩軍司令官は軍の編成を終るや直ちに參加諸參列將校名簿、作戰に關する方針書類、司令官の決心等を大元帥陛下の御前に差出す筈なり(同上)

▲陪觀の外國武官 陪觀の外國武官は本邦駐剳英、米、獨、佛、露、伊、墺、蘭、淸等の各大公使館附武官とし何れも四名以下に限られたり

▲大演習と機關砲 日露戰役後各師團に一個小隊の機關砲隊を編成して以來成績良好なるが尙一層實地試驗を要するものあるを以て今回の大演習には參加師團の機關銃隊全部を參加せしむべし(同上)

▲森林法の改正案 政府は本年度に起りたる未曾有の水害に鑑み水害砂防上緊要の改正を森林法に加へ次期議會に提出し尙は同法の治水豫防に關する規定を勵行するの訓令を發すべし(同上)

▲日本貯金銀行解散 政府は規約に基き同行預金全部を引繼ぐ事に決したれば明二十三日頃斷然解散の發表あるべし(同上)

▲秋季皇靈祭々典 來二十四日は秋季皇靈祭に付き宮中に於ては午前八時皇靈殿に於て祭典を行はせられ兩陛下の御代拜東宮同妃兩殿下以下各皇族文武親勅奏任官の參拜ある筈(同上)

▲仁川米豆取引所▼
▲前場(廿二日)十月二節九圓四十錢▲出來高二百石▲十一月一節八圓七十三錢▲二節七十二錢一錢三節七十錢一錢二錢三錢四錢▲出來高千五十石

▲演習參加隊糧食 各隊兵糧の作用には生米を用ゆる事とし副食物は多く罐詰使用の筈なり(同上)

▲宮中叙位式舉行 二十日宮中南溜の間に於て叙位式を行はれ文武官華族二百三十一名に對し夫々位階陞叙の御沙汰ありたり(同上)

▲教育基金と利子 教育基金利子の內五十五万圓を各府縣に分配したり各府縣は教育奬勵費に充用の筈なり(同上)

▲蠶糸業法案提出 農商務省に於て調査中の同法案は既に脫稿したるが省議の確定を見るは尙餘日あるべし全文五十條より成り蠶病豫防法、同業組合規則、蠶種製造所取締規則等にて來期議會に提出の筈(同上)

雜報

## 合併と小學讀本

文部省にては今回日韓併合に付小學校に於て使用すべき教科書に增補する筈にて目下調査中なりしが今回尋常科歷史讀本第二卷の末項に左の如く附記したり

我が天皇陛下は韓國は常に禍亂の淵源たるに顧み給ひ日韓相互の幸福を增進し東洋の平和を永遠に確保せんが爲め韓國を併合すべき必要を認め給ひ本年八月韓國皇帝は一切の統治權を永久に讓與する事を承諾し給へり此に於て韓國を改めて朝鮮と稱し總督府を置き諸般の政務を司らしめ給ふに至れり

## 古建造物の調査

朝鮮古代建築物に關する研究及調査は斯界の大家關野工學博士が去三十四年手を染められしを始とし强て同博士は建築所の聘に應じ昨秋より年末に亘り再調査に從事する事となり得る處少からず同博士は此再度の調査に因り初て古代建築に對する貴重なる鍮を握り得たる姿なるが尙ほ一層の研究は當局は固より同博士に於ても至大の希望にして是に就き荒井次官、坂出局長、小宮元宮內次官は種々畫策の結果同博士を宮內省囑託となし再び調査せしむる事となり同博士等は夫に之を喜納し既定の印度西藏新疆方面出張をも中止し遲く共廿七八日頃迄には入京さるゝ由なるが此最後の調査は朝鮮古建築の發揮さると共に斯學を益する事益々至大なるべしと

## 私立學校最近狀況

朝鮮人を教育する私立學校の狀況に關し從來其の調査は頗る困難にして正確なる數字上の統計を見る能はざりしが學部に於て之が鋭意調査の結果其の實數として最も正鵠を得たる數を見るに至れり即ち私立學校を二種に分ち一を普通私立學校とし他を私立宗教學校とし普通私立學校數は千三百五十六同宗教學校數は八百二十九にして合せて二千百八十五校なり之れが教員數及び生徒數を示せば左の如し

△教員數

| 種別 | 本國人 | 朝鮮人 | 外國人 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 私立學校 | 二〇三 | 四、七七七 | 〇 | 四、九八〇 |
| 同宗教學校 | 九 | 二、三二一 | 五五 | 二、三七五 |
| 合計 | 二一二 | 七、〇九八 | 五五 | 七、三五五 |

△生徒數

| 種別 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 私立學校 | 七四、一七〇 | 一、一七六 | 七五、三四六 |
| 同宗教學校 | 二三、四〇五 | 三、三二八 | 二六、七三三 |
| 合計 | 九七、五七五 | 四、五〇四 | 一〇二、〇七九 |

## 一進會の整理終了(會員數僅に二千有餘)

一進會は豫定の如く二十一日を以て殘務整理を遂げ會員名簿及印章一切を舉げて當局へ提供せり其際屆出でたる現在會員は二千三百名なりしと

●自家用煙草の移入 合併後朝鮮より自家用煙草移入に關し若槻大藏次官より統監府に左記通達ありたり

從來朝鮮より日本へ渡來する旅客が携帶する自家用煙草は一定の數量を限り無稅又は國稅にて輸入を許可し來りしが今般日韓合併の結果右煙草は輸入の性質を變じ移入と成れるに就ては煙草專賣法第八十七條第三項に依り自今全然之を禁止せらるゝことゝなりたるを以て朝鮮に在る文武官軍隊其他一般人民に對し豫め該禁令の周知方取計はれ度し尤も左記數量の範圍內に於ては交通の便宜を顧慮し輸入の例に準じ從前の通り旅具として免稅通關の事に取扱ふべきに付き朝鮮稅關に於て內地へ渡來の旅客等に對し一層の注意を拂ひ過誤なきを期せられたし

▲朝鮮より渡來の船客が携帶する自用煙草
一、葉卷煙草(小葉卷煙草を含む)百本以內
二、紙卷煙草 二百五十本以內
三、刻煙草 半封以內
四、粉煙草 嗅煙草 半封以內
五、板煙草(咀嚼煙草板煙草)半封以內 但以上は開封のものたるを要す

▲內地樺太と朝鮮との間に通航する船舶の乘組員及水夫が上陸の際携帶せる自用煙草は前項旅客に許す數量の四分の一以內但し一時の上陸に非るものは前項旅客に許す數量以內

▲內地樺太と朝鮮との間に通航する船舶が內地沿海航路に資格變更の場合に於て船舶並に船員水夫が所持せる自用煙草は第一項旅客に許す數量の二分の一以內但し再び內地樺太との間に通航する船舶又は外國貿易船に資格を變更すべき船舶の船用製造煙草にして無稅通關の制限に超過したる數量に對しては之に封印を施し船內に保存せしむることあるべし

●教科課程國語に付 併合後の教育に付き去十六日附を以て學部次官は各道書記官及び官私立學校に對し一の訓示を與へたるが其教科課程の國語に付き傳者は誤解をなせしが爲め疑ひを抱くものも尠からざるよしなるが成程开は無理もなき次第なれば辯明做くべし從來國語と云ふが朝鮮語日語は日本語を指稱せしが併合の結果として國語を日本語とし朝鮮語を本國語とすべき事となりしをアベコベに穿違へたるより前記の如き疑問を生ぜり又是れと同時に從來本國地理歷史と云ふは單に朝鮮の地理歷史のみに限定されて居りしが今後は廣く帝國本土の地理歷史をも指稱する事となり今後此方針に於て教育を施す筈なり

▲大阪期米電報▼
▲後場(廿二日)九月限寄十四圓七十六錢止出來不申▲十月限寄八十五錢止八十五錢▲十一月限寄九十錢止九十錢

●櫻井小學校落成式 來る二十五日櫻井小學校の新築落成式を舉行すべきことは既報の如くなるが今回其の催に就いて聞くに午前十時第一鐘にて式場に兒童を着席せしめ次いで第二鐘と共に來賓を誘導着席せしめたる後古城民長の式辭あり君が代合唱の後[illegible]兒童の唱歌あり右終つて民長は建築其他同校に關する報告をなす筈にして後統監又は軍司令官の訓示來賓祝辭あり之れに對し學校長及び生徒總代の答辭を順序なるが式後は來賓一同食堂に會し一方兒童は職員の指導にて校庭に盛なる運動會を催す筈なり

●國償報償金の現狀 例の國償報償金現金の保管高は約六萬圓ありて韓一、天一、漢城の各銀行に預託しあり而して總額は約十萬圓に達せる由にて其殘額四万圓は則ち行衛不明に屬するものなり之に關し當局者は未だ何等の干涉をも施さゞるが此儘に放任し置かば徒らに彼等の喰物となり支離滅裂遂に收拾す可からざるを以て相當手段を講ずるの必要ありと云ふ

●春川の宣教師大會 二十一日より春川及各地に居留せる外國人宣教師大會を春川に開催せるが來會者四五十名にして今後に於ける布教の方針並に來年度豫算案及本年度信徒情況會計等に就き協議し一兩日中に散會すべしと因に今回集合せるは美以教宣教師のみなりと云ふ

●宣教師大會の終了 去る十六日以來開城に於て連日開會中なりし美以派宣教師大會は廿日を以て既報の議案を審了し閉會したり

●南部警察署大會 南部警察署にては二十二日及び二十三日の兩日午後一時より同署演武場に於て京城各警察署員を招致し秋期劒術大會を開催せるが凡べて五十組の組合せにて勝負をなし優勝者には夫れ〳〵賞品を授與すると

●軍司令官の小宴 軍司令官は廿二日午後四時より步兵第六十五聯隊將校集會場に於て京城龍山駐劄の第二師團の將校並に同相當官全部及び軍直屬の部隊長を招待され小宴を催されたりと

●米總領事の出發 奉天駐剳米國副總領事ゴルドンパトック氏は廿一日午前九時南大門發南行列車にて神戶へ向ふ

●日韓通信の改題 日韓通信は昨二十二日より「朝鮮通信」と改題したり

●南大門驛乘降客 廿一日の分如左
乘車客 六二二 下車客 八〇六
乘車賃金 一五一四、四〇

●龍山驛の乘降客 廿一日の分如左
乘車客 二二一 下車客 二〇一
乘車賃金 二七〇、九三

●南大門荷物扱高 廿一日の分如左
發送 七四噸 到着 二八噸
發送賃金 五五一、八九

●龍山驛荷物扱高 廿一日の分如左
發送 七噸 到着 九五噸
發送賃金 一五五、二二

## 合併後の產業振興策(八)

韓國銀行總裁 市原盛宏君談

之れを簡單に云へば第一弘く善政を布き、別して警察權の普及を圖り津々浦々深山の奧に至るまで眞に生命財產の安固を得しむる事、第二運輸交通の機關を擴張整理し夫等の費用を低減する事、例へば既定の三南、京元の二線など、竣工の一日も速かなるを期し此の他にも必要の地方には鐵道を布設し、停車場又は開港場と各地方の間に道路を開通する事、第三金融機關の擴張及整理を計り金利の低減を期する事、これ等は既に誰が念頭にも浮べる方法であつて最も必要なる條件だ、苟も朝鮮の產業發展し物產の增加を圖らんとせば以上三つの機關を十分に整備し活動せしむることが焦眉の急であると思ふ、斯くの如くすれば各地の物產增加する一方には運賃低減の爲めに生產者も販賣者も均しく利益を得ることになる、これは自ら輸出を奬勵し增加することに成るので、其の結果購買力を高め、輸入增加を喚起し、商業の繁盛を來たすのだ。

續いで最も必要なるは、今の度支部の金融組合だ、之れを廣き意味の信用組合に變体せしめ、各地方に低利の資金を融通せしめ、一般人民の貯蓄を奬勵し、各地方の物產を各在所に於て可成有利に賣捌かしむべき方法を講じ、且つ農家の副業に適當なるものを調査研究して之れを授けたならば疑ひも無く產業は發達する。

次に必要なるは朝鮮に農業及び產業以外の有利なる事業の有無、若し有れば如何なる方面なりやを精確に調査し其結果を內外に周知せしめることだ、一例を擧ぐれば朝鮮は鑛物に富むとの風評がある、金、銀、銅、鐵、石炭、黑鉛、雲母等既に鑛區の採掘權を得たるも少なく無いと聞く、併しながら果して世評の如く又多數者の所信の如く豐富なりや否、未だ精確なる調査が遂げられたとは云へぬ、內地の富豪中三井、三菱の如き多少調査したらしく何れも確たる希望なしとの報告が有るが之れも怎うだか、前者が是か後者が非か遽かに判斷し兼ねる、去れば此の際內地の富豪は一段の勇氣を振起し幾十萬の費を投じて精確なる調査を遂ぐべきである、若し一個人にして其人無くんば政府が之れを爲すを要する、政府は爲めに百萬の費を投するも決して惜むべきで無い、斯くして半島に有利なる事業有ることが世に周知されたならば天下の資本は招かずして半島に集注さるゝであらう、一つの鑛業を開き得たとしてさへも其の附近の地方は頗ぶる富むものだ、況んや全國幾十の大鑛山を採掘するものと假定せよ、啻に鑛山のみならず百般の事業は之れが爲めに奬勵され誘起されるものだ、現に平安道雲山の如きは唯一の鑛山あるが爲めに鑛主の莫大なる收利は云ふに及ばず附近の人民も年々少なからざる利益を享受しつゝある例が有るでは無いか。

問題の範圍が廣いだけ話すことは尙甚だ多いが簡單に云ば先惣なものだらう

## 國庫の一大富源(上林蔘政局長の談)

人蔘の得意地は云ふ迄もなく淸國なるが夫も南淸にして北淸は殆ど其圈に漏れたり淸人の說に據れば朝鮮人蔘は熱性にして北部の水に適せず故に朝鮮人蔘は北人に適せずと併し需要に多少の差違社あれ北部人も相當飲用せるに照せば是が販賣の衝に當る扱者商權濃否の如何に因るが如し目下三井物產の引受額は年四萬斤にして同店の言によれば最早擴張餘地困難と稱すれども右の理由よりして拓開一層の力を用ふれば優に六萬斤に上るべきを信ず元來先年迄は收縮不完全の爲め私製多く酷しきは官蔘額の半を超ゆるに至りしに徵しても優に擴張の餘地あるべき筈なり

▲苗害 人蔘の苗害は既に八九年前に發生し近年に至り殊に慘狀を極めたり爲に普通七八萬斤に對し本年の如きは僅に一千斤に止まる有樣なりしが極力是が防過の法を講ぜし結果殆ど根本的病害を滅絕し來年よりは順境に向ふべし

▲本年の播種 は稗蔘圃四萬七千間に亘り是は來年本蔘圃に移すべきものにして之に對する同所要求蔘圃は四十五六萬間を要し六年後に至り收獲さる元來苗圃一間の蔘根は本圃二十間を要する例なれども病害餘害の爲め本年分は七間乃至十間を出さる豫想なり

▲播種と收穫 慘害甚しかりし昨年を標準とするも本年播種分の產額は優に一万八千斤の水蔘を獲へき見込にて是より生する紅蔘は五万六千斤に上り充分供給を充すに至るべし

▲種子買入 本年の購入種子は八千斤に上り每圃、朝鮮及滿州產の優等なるものを運用せるが一斤の種子は十間の苗圃に播種す

▲來春の苗木圃 出來高は苗圃十萬にして明後年の本圃は七十萬間を下らざるべく從ふて九万餘斤の紅蔘を獲らる

▲紅蔘の價格 紅蔘の價格は品質の良否に因るは固より尙は形狀及大小に至大の關係あり昨年の拂下は最上斤二十本の分は一斤八十二圓にして其次品たる吃蔘は三十六圓四十六圓五十六圓等の順序なりしが其需要家の手に歸する價格は最上分約百七十圓に上るといふ元來紅蔘の價貴きは實際の効顯よりも一種の貴重品扱ひに係るものにして是を飾るに金帛鑄品を以てし淸國人向苞苴として最適と稱せらる藥用としては鴉片毒緩和專用と稱することも實際は强滋用として服用する物の如く服用者も老人ならざる限り壯者は服薇せり淸國人の言に據れば普通適度の價格は最高百兩即ち約百三十五圓內外なりと

▲結論 以上病害により產額上至大の打擊を受けたる他產品の成育亦た佳良ならず兩者相待ち甚大の損失を被りしも本年度蔘圃が收穫期に入ると同時品質は固より產價に於ても優に回復さるべく尙ほ餘地ある販賣圈を擴張するに於ては確に優れたる國庫の富源たる可

●國償報償金と教育 [illegible]國債報償會と二十日午後[illegible]事務所に於て開催せるが出席者は俞吉濬、張孝根、洪弼周外三十五名にして左の件決議せしと
一、併合の結果國債なる名稱は不穩に就き今後會名も變更して教育基金管理會と改稱する事
一、從來の役員は其儘留任とする事
一、土地の買收は適當なる實地あれば道代表者及事務員協議の上決行すれ

▲京城手形交換高▼
九月廿二日 金高 九四、六七六、〇三 枚數 二四三

▲仁川米豆取引所▼
▲前場(廿二日)十一月一節八圓八十五錢八十錢七十九錢八十錢七十八錢六錢五錢三錢七十錢一錢二錢一錢二錢四錢▲二節七十四錢五錢四錢▲三節七十五錢四錢五錢四錢五錢

▲大阪期米電報▼
▲前場(廿二日)九月限寄十四圓七十五錢止七十五錢▲十月限寄八十八錢止八十三錢▲十一月限寄九十五錢止九十錢

▲仁川港の出入船舶▼
▲扶桑丸 廿三日大連より入港
▲漢城號 同 釜山より入港
▲津州丸 廿二日出港の處一日後れ廿三日鎭南浦大連へ向出港

## ▲治外法權▼

度支部から韓國財政施設綱要一冊を贈つて來た、コワ是れ荒井度支部次官が寺內統監へ差出した財務の報告書であるのだ▲韓國政府時代に於ける度支部の仕事は中々廣汎なもので本書收むる通り大は歲出入貨幣整理の事業より小は印刷屋煉瓦屋までをヤツて居る、財政顧問府の後を受けた度支部は威意味に於ては韓國政府の全部の觀があつた▲記者の見を以てすれば政府の手で半島民に與ふべきものは何を差し置いても物質的文明であるのだ、此意味に於て度支部は中々仕事をした、過去五ケ年に亘る統監府の施設中未來永遠に殘る物は多く度支部の仕事だ▲時世一變韓國政府の無くなると同時に度支部もなくなる、之から先きの仕事は總督府財務部がヤルのだ、扨コウなつて見ると有機體分離の法が行はれ今迄の度支部の濺に廣汎な仕事をする事を要せぬことになるのだ▲序に言ふが度支部の仕事中最も成功したものは貨幣整理で其次が財產整理と開港場の設備とだ、天日製鹽、紅蔘專賣印刷煉瓦製造手形組合倉庫業等は全然失敗で金融組合の如きは尙試驗中に屬するものだ▲岡崎日韓電氣專務の提言せる恩賜公債三千万圓を基本として勸業銀行を設立するの案は記者の關するところだ、死金を活かして半島開發の用に充つる此上の明案はなしだ政府當局者は本案に付一考すべしだ▲東京は已に市街電車賃の五錢均一を實行して居る、大阪も將さに均一制を採用せんとして居る、京城の電車も均一制を採用してはドウカ、一區五錢の高率では貧乏朝鮮人には乘れぬ、空車を走らして居ては會社も儲かるまい▲透視眼を持つた女が續々現はれるヨウだエッキス光線以上の此透視力を鑛物探險に應用してはドウカ、敢て在半島鑛業家に之勸めする。

## 獨前殖相の入京

既報の如く獨逸前殖民大臣デルンブルヒ氏は二十三日夜行列車にて釜山出發二十四日午前八時入京の筈なり

●京城八月中の物價 京城八月中の物價にして前七月に比し騰貴を見しは米、大豆、洋金巾、淸酒、麥粉、パインアプル罐詰、浪板亞鉛引、松材、杉材、ホワイシンク油、和製桐油、船來パテ、牛骨、牛蠟、牛皮、石油、木炭等にして低減せしは小麥、小豆、紡績糸、牛肉、平板亞鉛引、土工用鐵具、鑛檜杉松大角、杉貫、和製コールター、セメント等なり

●商工調査の結了期 農商工部に於て過般來より着手中なる商工調査は旋て結了するならんと云ふものあれど當局者の談によれば右は全盤に於ける調査にして其調査事項の品目のみにても十頁餘に亘れるものなれば仲々二ケ月や三ケ月やにて結了するに非らず惟ふに明年末頃にあらざるよりは全部の結了を見る能はざるべし

●獨逸大使館附武官 日本駐在獨乙大使館附武官男爵ベルチウイッチ大尉はフォンブアールケンハウゼン大尉及びパンク中尉を從へ約三週間の豫定を以て朝鮮滿洲旅行の爲め廿一日夜來着す

●大久保司令官巡視 大久保駐劄軍司令官は廿二日軍司令部前の兵營を巡視されたり

公人私人

▲栗木智堂(曹洞宗文學士) 二十一日釜山より入京し浦尾旅館に投宿す
▲安武千代吉(辯護士) 廿一日釜山發
▲松木多賀司(湊鐵道會社支配人)同上
▲兩角熊雄(平壤水道事務所長)歸任
▲上林敬次郞(度支部蔘政課長)開城行
▲加藤正惠(貴族院議員) 平壤行き
▲石黑芳太郞(ニユジーランド保險會社出張員) 二十一日夜行列車にて入京し永樂町二丁目藤原商會に投宿す

東京電報

▲條約談判と關稅 各國との條約改正談判は近日中愈開始さるべく關稅問題に關する英國との交涉は駐英大使既に之れを開始せり(廿二日)

▲仁川米豆取引所▼

[illegible]

▲大阪期米電報▼

[illegible]九月限寄十四圓七十六[illegible]▲十月限寄八十五錢止▲十一月限寄九十錢止九十[illegible]

●櫻井小學校落成式

來る二十五日櫻井小學校の新築落成式を擧行すべきことは既報の如くなるが今同日の催しに就いて聞くに午前十時第一鐘にて式場に兒童を着席せしめ次いで第二鐘と共に來賓を誘導着席せしめたる後古城民長の式辭あり君が代合[illegible]童の唱歌あり右終つて民長は建築其他同校に關する報告をなす筈にして後統監又は軍司令官の訓示來賓祝辭あり之れに對し學校長及び生徒總代の答辭を[illegible]順序なるが式後は來賓一同食堂に會し一方兒童は職員の指導にて校庭に盛なる運動會を催す筈なり

●國債報償金と教育

[illegible]會を二十日午後[illegible]團事務所に於て開催せるが出席者は兪吉濬、張孝根、洪[illegible]外三十五名にして左の件決議せしと

一、併合の結果國債なる名稱は[illegible]名も變更して教育[illegible]

理事會を改選する事[illegible]

一、土地の買收は適當なる[illegible]ば總代表者及事務員協議の上[illegible]

條約談判と關税

[illegible]

## 金廿萬圓の行衛

▽威海衛に於ける朝鮮人同士

[illegible]徐相集(五十一)は日本駐箚韓國公使の書記官同格の任務を執り多年東京に在り後ち仁川監理及び府尹の閲歴ある者なるが日露戰爭開始間際兩人手を携へて上海に渡り徐は貿易事業を計畫し之れが資本金として閔の手より現銀七萬弗を借入れ準備を了し經營に取懸りたるも事業の成績一向擧らず一二年後閔は都合上青島に移住せんとし爰に自己の出資したる七萬弗に對し權利義務を明瞭に確定し置くことを提言し徐は之に應じて七萬弗の借用證を調製し渡したり證書の主要條項は借用元金七萬弗の利息は月一分の率を以つて毎月支拂ふと元金の返却は閔の子孫に對し長期に仕拂ふことを記せり斯くて閔は青島移住を變更し現住所威海衛に來りたるは明治四十年の春なり同人は威海衛に在るも常に上海に於ける徐の事業振りを質問し或は協議し間接監督するところありたるなり然るに徐が上海の事業經營に失敗に歸し閔の後を追ふて同年亦威海衛に移住し來り兩者の間特に不和もなく本年に至り徐は朝鮮に歸還せんとの意を閔に告げたるより閔は此の訴訟を提起するに至りしなりと而して法廷に於ける判官の見解は借用證書面上歷然徐は七万弗の債務あり且つ返濟期は閔の子孫に末長く仕拂ふとあるも原告は其子三名と連署を以て返却を出訴する以上被告は其要求に應ぜざるべからずと云ふによりて遂に徐の敗訴となりしと風説に據れば日露戰爭開始前韓國上下紛擾多事の際當時大官に居りたる閔は官金公金等十餘萬圓を横領して出[illegible]時の府尹たる徐之れが[illegible]仁川より難なく脱出して[illegible]自己亦顧て上海に赴き[illegible]る可からざる因縁を生[illegible]投じて徐が事業經營を[illegible]今日の爭訟ある可しと[illegible]せざる特種の關係なり

## 養父と養女 後聞の後聞

▽手數の掛つた話かな

[illegible]娘はると題した後聞に[illegible]より十三日午後八時頃[illegible]る事は既報の如くなる[illegible]なく歸國したるが廿一[illegible]崎町岩間國三郎方に潜[illegible]松葉亭より親元へ打電[illegible]は十三日八時頃旭屋を[illegible]聞鑿路を一目散に馳せ居[illegible]と認め今私を無理に引き[illegible]者があるので其人の油斷[illegible]る故是非匿して呉れと云[illegible]身へ逃げ出したので今に[illegible]其を誠なりと信じ我家に[illegible]を聞きしに尤もの事さて[illegible]させしものなりと

今日迄匿置きしものなりと

## 男運の惡い酌婦

▽掛る男も掛る男も

婦人墮落の徑路に十四種あると云ふ其の一項に夫又は情夫に誘致强迫せられて悲境に沈淪する者と云ふのがある夫れに恰度當て箝つたる一人と云ふは中の新地浪華樓の酌婦〆子事長崎縣生れの堺かめ(一八)の身の上なり同人が父に死に訣れし後は故郷にては家計も困難なるより去る四十一年中母子相携へて親族某の龍山に居るを頼寄りて寄食なし居る内或る事情より同地の料亭北海樓に酌婦として住み込みしも三箇月程して廢業せしが其の三月程の稼業中二三回客どしたる事ある龍山大島町疊職中村藤吉(二六)と云ふが今は廢業せし〆子の許に押寬け夫婦約束迄なしたる自分に無斷廢業したるは不埒なるが夫れは過ぎ去りし事として許すべければ是非女房に呉れと母親に迫りしもかめは一人娘の事なれば他に嫁入らすることを叶はず、断絶したるに中村は然らば考へあらとて遂には短銃を差し向け心疑りしたるかめを殺し自分も自殺すべしと脅迫せしに母親は兎に角一應親族と相談の上のことゝし一時を胡魔化し本人さへ居らずば如何にとも納まるべしとおかめを新義州の知人の許へ托し中村には突然娘が家出せしか萬一御身の方に行き居るに非ずやと巧みに引掛けしより然うとも知らぬ中村は共々心配し居る内前記の事情を耳にしたる本年二月中新義州へ赴き苦心の末其の居所を突き止めかめは勿論預り人をも脅迫して龍山に連れ戻り否應なしに同樓し母親をも扶養すべしと欺き一ヶ月の後南大門外料理店玉春樓に前借金百五十圓にて賣り飛ばし該金は全部酒色に費消したる後同家に至り自分は内地に歸るべければと强談し又もや四十圓を强請し其後も屢々訪れては亂暴を働くことかば取調べ進行中同人に改悛の情あり示談すべしとて告訴取下げを申出しにぞ當時官憲も之れを諒とし取下げを許したるに其の後中村と母親と示談の結果半額を同人より半額をおかめの親族にて支拂ひ一應玉春樓よりおかめを引取りしが又々或る事情より花園町料理店松月樓に預けられたるが間もなく親族にて目下旭町に居住する大工職橋本某と内縁を結びしが不幸にも此の松本ナカ〳〵の男とて七月上旬前記浪華樓に賣飛ばされたるが目下は承諾書一件に付問着起りしに中村も顔出しせんとして盛んに運動中なりとか云ふが此れか異の夫若しくは情夫に誘致脅迫され墮落の徑路を辿りつゝあるものと云ふべし、哀れなる哉

## 三百代言引致さる

▽横領及び詐欺取財

彼の羽織破落漢の檢擧に付其筋に於ては嚴重に探査中なるが又々中島男成(三十九)とて西小門通り某理髮店二階に陣を構へ朝鮮人相手に三百代言を爲し或は測量業と假稱し良民を欺き金品を詐取せし事其筋の探知する所となり二十二日引致されしが彼れは某朝鮮人より金百五十圓の取立依頼を受け二十餘圓に減額し之を受領し本人に交付せず費消し其他數ケ所にて同一の手段にて金錢を騙取し居る由にて目下取調中なりと

## 新高富士男君

▽臺灣富豪令孫の遊學

▽今は寢言に迄母國語

臺灣切つての富豪なる臺中の林家にては子弟の教育に頗る意を用ひ同島民が未だに**母國語に不鍛練**なるを慨し率先して施純溪(十三)と云ふ愛孫を昨年十二月より東京日本橋區通旅籠町なる**日新小學校**寄宿舍に入學せしめしに其成績の良好なるを聞きて大に乘り出し更に林讓堂氏に令孫三名を遊學させて東京見物を終次第入學せしむる筈となりと而して同校現在の寄宿生は三十五名にて純溪君は入學當時より自ら新高富士男と**母國流の姓名**に改め初めの間は他生徒と言葉が通せずれ互に意志疎通を缺き爲め時々朋輩喧嘩をなせるともありしが中々腕力家にて大抵は對手を乘し倒して勝利を得泣いた事は二三度より外無いと當人大得意なり然し今は對話は勿論**寢言まで日本語で**云ふ程になりましたとは校長箱石氏の話しにて某氏が訪問したる折の如き富士男君は片頬に靨をべつたりと付け紺飛白の單衣を着し記者の間に答へて東京は故郷臺中より好きにて中にも淺草の活動寫眞が一番氣に入りたり食物は矢張り油濃き物の方が宜く澤庵は甘いが茄子は日本食の中にて大嫌ひなりと顔を綴作ら語る樣甚だ無邪氣にて愉快げに見れたり因みに**同校**にては臺灣に**孟子七十代の遠孫**孟祥燐と云へる清人を**教育**し富士男君にて二人目なるが**今後**更に**朝鮮の兒童**を大に**教育**せん**計畫**ある由なり

●入監志願に合格

群馬縣人當時住所不定理髮職駒出常太郎(三〇)は仕事が嫌ひな所から糊口に窮し警察に行路病者として保護を願ひたるも健康なる身體にあり乍ら保護を願出るは不心得なりと説諭を受けしてとある者なるが九月七日午後八時三十分長谷川町二丁目料理店乙の花に登樓し二圓九十錢に相常する飲食を爲し計算となりしにお定まりの懐中無一物なれば自分の宅迄隨いて來いとて同家の者と南大門派出所まで同行し自分の宅は此處なれば暫時待てとて警官に向ひ、自分は入監し度き爲め無錢遊興しました相當の罰を願ふ旨申立たるに付南部署に引致取調の上最初より意思ありて無錢飲食せしものなればとて檢事局に送らる

●仁川雜事

仁川京町一丁目岸原信太郎二女キン(十一)は二十一日午後五時頃山手町三丁目の道路に於て五錢入の財布を拾得届出▲京町二丁目旭亭事長濱トマ方抱酌婦大坂スカノは廿一日午後八時頃同亭前の道路に於て戲れ居たる處を警官に認められ目玉頂戴▲敷島遊客は二十九人費消金百九圓八十五錢なり

●正誤

左の通り申込ありしに付訂正

拜啓九月廿二日附貴紙第百五十五號新報欄内御掲載の拙者に係る記事は事實大に相違致し居り候條此文を掲げ御取消相成度此段申進候也

明治四十三年九月廿二日 京城本町五丁目 建部書三郎

京城新橋通り二番戸 草野文次郎

京城新報社御中

## 目 ご 耳

▲歌舞伎座 曾我廼家一座にて久數開演中の同座は入れ替りに新派齊柳春水一座を迎ゆる由同一座は久しく滿洲方面巡業中なりしものにて中々の腕揃ひと云へば新派に渇したる當地人士の好評を博するならん初日は今二十三日にして出し物は前『一刹那』七場切り『喜劇辨遊帳』一場なりと

▲浪花館 金馬一座廿三日代番組 道かん(金平)指寫し綿獅子の舞(金遊齋)常盤津並に浮世ぶし(小つま)味噌ぐら(市馬)出來心(金勝)音曲手踊りすてゝこ(金登喜)人情噺前夜のつゞき(花圓遊)曲獨樂空中自在の皿(龜次郎)尺八の曲種々(花堂)新聞の見合ひ(金馬)大切新作喜劇智惠比べ

▲壽座 二十三日より東京改良講談義勇派東操一座にて開演する由なるが同人は曾つて梨本宮殿下の御聽を賜はりたるものなりと初日演題左の如し

前席『西南餘聞西郷再度の旗揚』

後席『日露餘聞滿洲血染の地圖』

▲平民文庫▼

▲本國鐵道院で判任以下へ水害中御苦勞であつたと云ふので金一圓を下附した此れが少額だと云ふので古川中部管理局長は幹部へ大抗議を申出でた相だ▲が夫れを例へると恰度斯うなる譯だ▲鐵道院と云ふ稼業は昔の馬士、籠昇きの元締めとして旅客荷物の運搬者たる問屋場で使用人は即ち馬士、籠昇き其者である▲此の馬士、籠昇きは昔しから酒代の多寡で旅客の取扱ひを二三にしたとは話に聞いて居たが、問屋場役人の云ふことには絶對服從したものだとも又話しに聞いて居た▲然るに今の馬士、籠昇きは問屋場役人衆から出した酒代に不服だと云つて臀を捲つて店前へ大胡座をかいてる▲賃錢以外の心付けを多いの少いのと云ふ今も昔も變らぬ籠昇き根性イヤ困つたものでムる▲水害地の人民が聞いたらドンな氣がするだらうと話して居た人があつた(へ風聞子)▲俳句とか情歌とか云ふものを作りになる先生達は黨同異伐とやらで盛んに他人の作句に批を打つてれ喜びになるものだのに當地の御連中には夫れがない各々其の領域を守つて居らつしやる良い子だようねんねしな(大天狗)▲大天狗の鼻柱を摧いて呉れる、小兒の立小便は査公も氣に止めぬ、肥汲みの鼻にはスカシに匂はぬと同樣大天狗になると何れも樣他人の句が目に入らぬ從つて批評も成さらぬ君は大天狗だと自稱する斯樣な事に氣が注くのは小天狗の證據ですな(へ小僧)▲小僧君にれ尋ねする理由なく主人に叱られた際辨明するが良いかへイ〳〵と云つて居るが美いか(丁稚)▲困難しいね、所謂理由なき叱言にもハイ〳〵と言ふ可き場合と猛烈に抗辯を試みて佳き場合とがあるが多くは理由なき叱言は頭の上を通過せしめて置くに限る、叱言既に理由なき以上は抗辯も又理由なきものとなるからね(小僧)▲モウ朝顔も末ですね(朝貌狂)▲永樂亭の亭主どの立派に鼻を伸して居ので、ツイ見違へる如になつた(通行人)

## 尋犬

牝白栗色斑犬頸輪(皮)に明治町二丁目辨護士岩田と書きあり心當りの人は御通知を乞ふ相當御禮可仕候

明治町二 岩田

## 今日の運勢

●九月廿三日 舊八月十九日 ●六白 友引 辛卯 破る △一白 收効の日大凡吉但し旅行及物品輸送に注意の事△二黒 便宜及助力を受る日なり創業開店相談謀議婚談に吉△三碧 新事見合せの事尚負傷衛生を愼むべし△四綠 金品授受證券及び取引上紛紜起り易し尚交際上葛藤の恐れあり△五黄 不圖機會若くは利得を逸する事あり其他大凡吉△六白 紊亂し易き日婚談協合謀議に忌む證券印章の事故障起らん△七赤 無心要求に遭ふあらん尚家族より累わり△八白 怒情を釀成し易き日交際上尤も注意すべし他は吉△九紫 知己の者より損害受け易し尚盜失横領防ぐべし(本町五三一館)

一、鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

京城旭町三丁目（電話五六八番）
建築業 柴田芝六
表具部開業
襖額屏風天井壁張及表裝一切並普請の需用に應す
旭町三丁目三日月湯隣
柴田表具部
主任 網島久雄 眞光小太郎
（電話五六八）

本館 本町四丁目（贊化病院前）
特色 夜間撮影
河合寫眞館
電話一二六九

會席料理 大勉強
酒道樂
京城永樂町三丁目
電話一二七六番

弦齋流割烹
す津祢
南山町一丁目
電話千五百二番

古家屋、賣買、新古材木並トタン板、雨戸、障子類一式
其他建築材料一切
古着、古道具、諸雜貨
京城本町七丁目京城座前
建築材料 五十材料店
電話一千四百二十四番

[illegible]
京城壽町
[illegible]

見切太物 よせ切
大賣出し
來る十七日より廿五日迄
正札より一割引
赤札に限り二割引
但し吊切は割引なし
右今回は破額の大安賣仕候間是非御光來の上多少に拘ず御買求の榮を賜度候
自由足袋 發賣元
京城本町三丁目
圓城呉服店
（電話一五七番）

統監府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
同第二 電話一六〇八番

冷御 四斗五升詰
山邑正宗
今般上記の通り發賣仕り候に付櫻正宗同樣御愛顧御引立の程奉懇願候 拜具
明治町一丁目（漢城病院前）
山邑京城支店
電話八四九番

本院は毎日（日曜及祭日を除く外）午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依頼す
但松村先生の診療時間は午前九時より正午迄とす
和田先生の診療時間は午後二時より
京城居留民團囑托
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
（電話六〇三）

陸軍衛[illegible]
營業料目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類 [illegible]
委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
[illegible]株式會社[illegible]特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 京城京橋南鍋町一丁目 東京新地電話三六九二十番

●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
大學目藥
商標 登録
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●ラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
定價 小瓶十錢 中瓶二十錢 大瓶[illegible]
發行所 大阪市北濱一丁目
元祖 ヘブリン丸 參天堂藥房

かぜねつの最良藥
ヘブリン丸
ハカリ印
參天堂藥房
京城南大門通
新井藥房
電話一〇六八
振替口座 韓國九〇四番

從來御愛顧を蒙り候松原寫眞館を引受け器械其他万端の設備を改善し熟練なる技師を聘し最新の研究に驗ら極めて嶄新なる技術を應用し撮影可致候間一層御愛顧之程希上候
追而當分御披露の爲め定價半額にて夜間撮影は勿論出寫は遠近に不拘實用自辨にて御應じ可申候間御用に御越被下度願上候
京城壽町一丁目（中劵番隣）
村井寫眞館
電話一六二七番

月串、南洞、海州行
瀛船出港廣告
天草丸 安來丸 成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通
柴田回漕店
（電話四一九）

芙江公州間出帆廣告
芙江發 毎日後一時 京城方面ヨリ急行接續
公州發 毎日前七時 京城方面行急行接續
（荷客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候

定價表
御入用の方には無代進呈仕候
暖爐各種
並に附屬品
煙突取附
多數御注文の節は特別勉强可致候
龍山新市街山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）
馬木勇吉本店
電話三六四番
京城本町五丁目一番戸（商業會議所ヘ曲ル角）
馬木勇吉支店
電話四七一番

臨時水害救濟會寄附金募集廣告
今回の水害は近古未曾有の慘事にして其範圍頗る廣く東京神奈川、千葉、群馬、埼玉、栃木、茨城、福島、宮城、岩手、山梨、長野、新潟、静岡、三重、愛知、秋田、山形、鳥取等の諸府縣に渉れり此等罹災地方の人民は或は其家屋を流亡し或は父母妻子離散し衣食の窮乏を訴ふるもの其數幾十萬人の多きに上る眞に痛嘆に堪へざるなり若し之を等閑視するときは飢餓に亞ぐに病疫を以てし悲慘の狀況日々増大せんこす豈急遽之を救濟せすして可ならんや是に於てか我々有志相謀り洽く天下の同情者に訴へ寄附金を募集して以て適宜各府縣に分配し救恤の資に供せんと欲す大方の篤志家諸君希くは本會の主旨を諒し奮て此舉賛助せられんことを
明治四十三年八月
東京日比谷衆議院圖書館內
臨時水害救濟會
總裁 侯爵 松方正義
副總裁 長谷場純孝
副總裁 男爵 澁澤榮一
常務委員 益田孝 同 林田龜太郎
同 豐川良平 同 太田峰三郎
同 中野武營
會計監督 佐竹作太郎 同 根津嘉一郎
注意
一寄附金は金一圓以上の事
一寄附金締切は九月三十日限りとす
寄附金は特に特定なき地方は左記宛便宜御郵送被成下度候
東京市日比谷衆議院圖書館內
臨時水害救濟會會計監督

牛馬犬猫
入院隨意
治療所
京城明治町三丁目（電話四二七番）
小川家畜醫院
院長 小川龜太郎

院長診察毎日午前自七時至正午
龍山元町二丁目（電話一〇參番）
佐藤病院
胃腸病診療
院長診察毎日午後自三時至五時
龍山郵便局北隣（電話四〇八番）
佐藤病院出張所

朝鮮牛種及牛乳改良元祖
當場飼畜の乳牛は悉くエーアシャ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり
當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし
消毒純良
高等牛乳
京城南大門外
荒井牧場
（電話一〇五六番）
當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候
當場には御進物用牛乳切手發賣致候
其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候
龍山本町三丁目
龍山販賣所
（電話二〇二番）

和洋古物各種
新案
丸たびもた
堅牢て廉價 [illegible]織
京城本町一丁目 丸一
東原商店
電話四八三番
丸 出張店
京城本町五丁目[illegible]入口角